

◎到津の森公園と海響館との連携

平成22年度から下関市の水族館「海響館」と北九州市の動物園「到津の森公園」の両施設サポーター制度に特典を設け、両施設を割引で入場できるようにしている。また、両施設に「インフォメーションコーナー」を設置し、相互にイベント情報などの提供を行っている。

◎赤ちゃんの駅事業（シンボルマークの共通使用）

平成20年10月から、北九州市が、外出中に授乳やおむつ替えのために立ち寄ることができる施設を「赤ちゃんの駅」として登録している。両市の子育て中の親が安心して生活できる環境づくりを進めるため、平成24年3月から下関市でも共通のシンボルマークを使用して赤ちゃんの駅の登録を開始した。

②経済活動における連携

◎関門海峡観光推進協議会

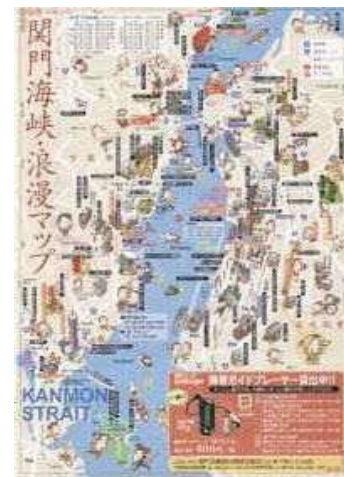
平成9年6月、関門海峡エリアを中心とした観光振興を図るため、下関市・北九州市・山口県から構成される協議会を設立し、観光宣伝・招聘事業、観光客誘致・周遊促進事業等を行っている。

◎東アジア経済交流推進機構

環黄海地域の発展のため、日中韓の10都市（現在は11都市）の行政及び経済界が参加する「東アジア経済交流推進機構」が2004年11月に発足した。現在、両市は事務局として、本機構の活性化に向け共同で取り組んでいる。

◎クルーズ客船寄港時の観光促進

門司、下関のどちらかにクルーズ客船が寄港した際、乗客に対し、門司側、下関側双方の観光案内を行い、関門一円で観光を促進している。



◎関門連携委員会

平成18年5月より（社）九州経済連合会と（社）中国経済連合会とが共同で関門地域の一体的発展を目指し、観光産業振興、国際交流策などについて調査・研究を行っている。

◎関門港連携推進連絡会

関門港（北九州港・下関港）が平成23年11月、「日本海側拠点港（総合的拠点港）」に選定されたことを受けて、両港が一体となり関門地域の発展に資するため、両港間の連携に係る情報交換、連絡調整を行うことを目的として「関門港連携推進連絡会」を平成24年3月に発足した。

③教育文化活動における連携

◎関門地域共同研究

両市に共通する広域的課題に対し、調査研究を効率的かつ効果的に進めるため、平成6年度に北九州大学産業社会研究所（平成18年4月より北九州市立大学都市政策研究所と改組）と下関市立大学附属産業文化研究所（平成20年4月より附属地域共創センターと改称）とが連携して「関門地域共同研究会」を設置し、調査研究を行っている。

◎大学コンソーシアム関門

北九州・下関地域の大学が、各大学特有の教育・研究資源を相互に活用して多様で質の高い教育を学生に提供することにより、地域の大学の魅力向上を図るため、「大学コンソーシアム関門」を平成20年12月24日に設立した。平成21年度から単位互換制度を活用した共同授業（市民公開）等を実施している。

◎北九州市、下関市図書館等広域利用

平成15年4月より、北九州・下関両市の居住者が、双方の図書館等で貸出利用ができるようにすることで両市の一層の交流を図っている。

◎関門海峡・温故知新塾

下関市民と門司区民が『関門』の歴史や文化などをあらためて振り返り、その意義や恩恵を再認識することを目的に、各分野の専門家の講義やフィールドワークを実施している。平成11年度にはじまり、毎年開催している。

◎北九州・下関高等教育機関会議

北九州・下関地域内の大学等高等教育機関が、地域の高等教育、学術研究機能の充実を図るため、学長会議・事務局長会議を開催することで、大学間及び行政との連絡調整を行っている。

◎こども文化パスポート事業

地域の歴史・文化・自然に接することにより、豊かな心を育むとともに親子のふれあう機会を増やすことを目的として、夏休み期間中を中心に文化施設等に無料または一部割引で入場できるなど施設で特典が受けられるパスポートを3歳以上中学生以下の子どもに配布している。

平成15年度に、北九州市制40周年記念事業として始めたもので、第8回両市長会談合意に基づいて、平成17年度に下関市の施設を追加した。現在は、北九州市、下関市、長門市、北九州都市圏広域行政推進協議会の共同事業となっている。

◎北九州市立美術館と下関市立美術館の連携

平成4年から北九州市立美術館友の会と下関市立美術館友の会が連携し、両館の展覧会を無料または割引料金で観覧できるサービスを開始した。



④交通環境における連携

◎下関北九州道路（関門海峡道路）の早期実現へ向けた取組み

地域高規格道路の候補路線に指定され、平成20年7月の「国土形成計画」では「長期的視点から取り組む」と位置づけられている「下関北九州道路（関門海峡道路）」の早期実現へ向け、「関門海峡道路整備促進期成同盟会」「関門海峡道路建設促進協議会」を結成し、要望活動、調査研究活動などの早期実現へ向けた取組みを行っている。

◎関門シティ電車運行実現期成同盟会

北九州市と山口県西部地域との交流を促進し、圏域を越えた経済圏の活性化を図るため、時刻表を気にせずいつでも乗れる等間隔、頻繁運行の列車を目指し、両市が協力して鉄道事業者への要望活動及びノベルティや時刻表作成・配付等のPR活動等を行っている。

⑤行政間における連携

◎関門地域行政連絡会議

関門地域の活性化を図るため、平成2年に両市で構成する関門地域行政連絡会議を設置し、相互の連絡調整及び情報交換や関門地域の広域的な課題の調査研究等を現在も継続して行っている。

◎両市職員の相互派遣など

平成20年5月から両市職員の相互派遣を行っている。

また、両市職員の相互理解を進めるため相互派遣職員の編集により、月1回、電子掲示板に広報誌を発行している（平成20年7月より開始）。

◎関門連携PRコーナーの設置

両市の市民が集う公共的施設に「関門連携PRコーナー」を設置し、関門地域で共有すべき地域情報やイベント情報などの情報提供を行っている。

◎広報紙における連携

平成14年度から、両市の広報紙（北九州市政だより・市報しものせき）において、イベントや祭りなどの情報を相互に掲載している。

⑥生活関連機能サービスにおける連携

◎高齢者の公共施設相互利用

両市の満65歳以上の高齢者が市立の文化施設等を無料もしくは割引で相互利用できるサービスを平成15年6月から開始した。

◎関門トンネル水道連絡管事業

関門トンネルを経由して、北九州市と下関市の配水管を連結し、非常時（漏水や事故等）に、水融通を行うことで、給水制限の回避や緩和を図ることとした。

◎馬島への給水事業

下関市から北九州市の馬島へ飲用水等の生活用水を給水するため、水道（海底送水管）を六連島、馬島間に整備し、平成16年4月1日から給水が開始された。また、平成22年4月1日には、馬島を下関市の給水区域に編入した。

◎消防相互応援協定の締結

両市における水火災等の災害に関し、相互に消防力を活用し、被害を最小限に抑えることを目的に、「消防相互応援協定」を平成17年4月1日に締結した。

併せて、本協定に基づき、「高速自動車道における災害時の覚書」を交換した。

また、北九州市と山口県がそれぞれ保有する消防・防災ヘリコプターの相互応援を目的に、「航空消防相互応援協定」を平成22年11月1日に締結している。